

Luncheon Linguistics, 04/29/2026

2026（令和8）年4月29日

「初期調査報告：トダ族・コタ族の言語と文化」

発表者：小林颯（東京外国語大学博士後期課程）

本発表は2026年2月から3月にかけてインドのタミル・ナードゥ州ニルギリ丘陵で行った言語調査の初期報告である。対象言語はトダ語とコタ語（ともにドラヴィダ語族南部ドラヴィダ語派）である。本発表の前半ではトダ語とその話者であるトダ族の文化について扱い、後半ではコタ語とその話者であるコタ族の文化について扱った。

トダ語とコタ語について調査で得られたデータから特にアスペクトに関わる表現が含まれる文を対象に現時点での分析と考察を示し、最後に系統を同じくするタミル語（ドラヴィダ語族南部ドラヴィダ語派）のデータとの比較を行った。さらに、発表内では実際に調査で得られた音声の紹介も行った。